

10 地域との連携

10-1 熊野古道としての河川空間整備ワークショップ

熊野川では、舟運、祭事など河川空間、水辺で執り行われる行事は多く、地域にとけ込んだ水辺空間を成している。その中で、熊野古道が世界遺産に登録され、熊野川も「川の参詣道」としてその中に含まれている。

熊野川の池田港を中心とし地域のまちづくりとも連携することにより、点在する景勝地の散策、古来の熊野本宮大社からの川下り船の帰着などを取り込んだ、地域一帯の回遊性ネットワークを形成することにより、歴史遺産、観光拠点、観光資源を活かした良質な水辺空間を創出できる。この池田港の整備とそのまちづくりに計画段階より地域一体として取り組むことにより、地域に望まれた河川空間整備を目指している。



地域住民との第一回ワークショップ

10-2 啓発活動及び維持管理にかかわる地域との連携

地域住民の協力を得て河川敷地の清掃などを行っており、地域連携した河川愛護活動や維持管理を推進している。また、啓発活動の一貫として自然環境調査、水生生物の生息確認調査など熊野川の豊かな自然を利用した環境学習を行っている。



地域住民による清掃活動



環境教育活動



水生生物調査



街頭での啓発活動



河川愛護紙芝居